

玉成保育専門学校2021年度自己評価 各評価項目について

1.教育理念

理念・目的・育成人材像・特色などは、多面的な広報活動で明確化されている。将来構想については、玉成保育の実践力豊かな保育者養成を強調することが望まれる。保護者や保育現場へも周知したい。

2.学校運営

小規模・男女共学での個を尊重した実践教育を高く評価する。一案として、卒業生が母校に帰り実践報告等を行い、教職員と相互学習する場を設けたい。また、業務の合理化を図り、重点的項目に注力したい。学校名や特色を周知する、広報活動の充実・拡充が望まれる。

3.教育活動

小規模校であるメリットとしての個別指導を更に充実されたい。理事会、学校運営委員会との連携を強化することが望まれる。また、コロナ禍で実施できなかったフレンドリーウィークやプラクティカルスタディの復活により、本校の特色を更に充実することを望む。

4.教育成果

志願者の多様性に適切に対応することが求められる。また、キメ細かな個別支援も肝要である。引き続き、退学率の低減に努め、就職率・資格取得率の向上を図られたい。

5.学生支援

近年、経済的に困難な学生が増加しているので、適切な経済的支援に努めてほしい。また、同窓会活動やホームカミングなどによる帰属意識や世代間交流に努めることも望まれる。

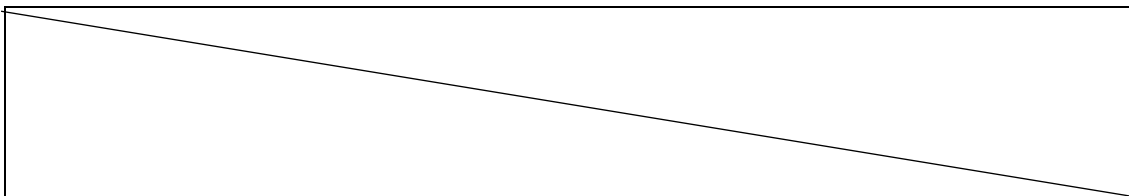
6.教育環境

オンライン授業では、創意工夫に努めることが望まれる。学生同士が交流し、くつろげる場を設けること、トイレの拡充など施設・設備の充実も課題である

7.学生の受け入れ募集

経済的困窮問題への適切な対応を強調する。引き続き、多様な情報提供に努め、本校の特色に共感する応募者獲得に努められたい。

8.財務



9.法令等の遵守

定期的な運営委員会の開催に努める。このため、オンラインの活用も考える。評価で指摘された改善点へのその後の対応と実施、それらの広報が課題となる。

10.社会貢献・地域貢献

過去に実績のあった演奏会の開催や学生のボランティア活動の再開を期待する。また、コロナ禍明けには、地域社会への公開講座・教育訓練などでの社会貢献を期待する。

11.国際交流※学校から必要がある項目として提示された場合

